

**ふくしまグリーン復興推進プロモーション事業  
国定公園満喫プロジェクト 2023 業務  
委託仕様書（案）**

本仕様書は、福島県が行う「ふくしまグリーン復興推進プロモーション事業国定公園満喫プロジェクト 2023 業務」を委託するに当たり、必要な事項を定めるものとする。

**1 業務名**

ふくしまグリーン復興推進プロモーション事業  
国定公園満喫プロジェクト 2023 業務

**2 業務の目的**

福島県では、震災により減少した自然公園利用者数の回復を目指す「ふくしまグリーン復興構想」（参考 1）に基づく取組の一環として、令和 3 年 10 月に只見柳津県立自然公園とその周辺区域を越後三山只見国定公園へ編入した。

編入後の越後三山只見国定公園は、国内の国定公園として第 2 位の面積を誇り、広大なブナ等の自然林に希少な生物が生息する奥山から、只見川沿いに自然と人の暮らしが一体となって広がる里山まで、さまざまな風景と出会うことができる国定公園となり、県では、令和 4 年 7 月に「越後三山只見国定公園（福島県地域）管理運営計画」（参考 2）を策定し、地域関係者と連携を図りながら広大な国定公園の保護と適切な利活用の促進に取り組んでいる。

国定公園管理運営計画では、本国定公園の課題の一つとして、景観を眺めて楽しむ利用だけでなく、魅力ある地域固有の自然環境や文化等を体験する利用を促進することを挙げており、そうした機会の提供や、利用情報の適確な発信に向けた取組が必要となっている。

また、本国定公園内を走り、令和 4 年 10 月より全線運転再開となった JR 只見線は、地域の重要な移動手段であるとともに、絶景のローカル線として国内外から多くの観光客が訪れる人気のコンテンツとなっており、車窓から国定公園各地域の普段と違った景観を楽しめる点は、更なる魅力として情報発信を行っていく必要がある。

本業務では、越後三山只見国定公園（福島県地域）において、JR 只見線の利用を含めながら地域資源を体験するイベントを開催し、国定公園エリアの更なる利活用促進や魅力発信を行うことにより、自然公園利用者数の回復と交流人口の拡大を図ることを目的とする。

(参考 1) ふくしまグリーン復興構想

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/fgr/about/>

(参考 2) 越後三山只見国定公園（福島県地域）管理運営計画

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/520388.pdf>

### 3 履行期限

契約締結日から令和 6 年 2 月 2 9 日（木）

### 4 履行の場所

越後三山只見国定公園（福島県地域）及びその周辺地域

### 5 業務概要

- (1) 沼沢湖自然体験イベントの開催
- (2) JR 只見線を活用した自然等体験イベントの開催
- (3) (1) (2) の開催に係る告知及び越後三山只見国定公園（福島県地域）の宣伝等

### 6 業務内容

以下に係わる一切の業務（企画、調査、調整、作成（印刷）、発送を含む）を実施すること。

#### (1) 沼沢湖自然体験イベントの企画及び実施

沼沢湖の自然を活用したイベントを 1 回以上実施すること。

##### ア 参加費用

参加者の交通費、宿泊費等は有料とすること。

##### イ 参加者数

延べ人数 30 名程度を想定すること。

なお、最終的な参加者数については県と協議の上決定するものとする。

##### ウ 実施時期

令和 5 年 7 月～10 月頃。

##### エ 実施場所

沼沢湖畔（福島県大沼郡金山町）。

##### オ 留意事項

・イベントの開催にあつては保険への加入対応を行うほか、参加者の当該自然体験に係る経験や予備知識等に応じたパーティ分けや、ガイド・運営スタッフの配置を行うなどにより、安全衛生管理等の確実な実施

とイベントの充実に努めること。

- ・イベントの実施に当たっては、関係法令等を確認し、必要に応じ手続きを行うこと。

- ・イベントには本県ゆかりの著名人又は当該自然体験に関して造詣の深い人物を招聘し、一緒に体験する仕掛けを盛り込むこと。

- ・参加者に対し、越後三山只見国定公園（福島県地域）及び当日の沼沢湖自然体験イベントに関する理解を促進するツール（リーフレット等）を製作し、配布すること。

- ・参加者に対し沼沢湖での体験の満足度や今後の本国定公園の自然資源等の利活用に関するアンケートを実施し、課題等を抽出、整理すること。

## （２）JR 只見線を活用した自然等体験イベントの企画及び実施

国定公園地域の自然等を活用したイベントを１回以上実施すること。

### ア 参加費用

参加者の交通費、宿泊費等は有料とすること。

### イ 参加者数

延べ人数 20 名程度を想定すること。

なお、最終的な参加者数については県と協議の上決定するものとする。

### ウ 実施時期

令和 5 年 9 月～10 月頃。

### エ 実施場所

越後三山只見国定公園（福島県地域）（※）。

（※）なお、必要に応じて国定公園周辺地域を含めることも可とする。

### オ 留意事項

- ・イベントは JR 只見線の乗車機会を設け、車窓から本国定公園の景観を楽しむことができる行程とすること。

- ・イベントの開催にあっては保険への加入対応を行うほか、参加者の当該自然等体験に係る経験や予備知識等に応じたパーティ分けや、ガイド・運営スタッフの配置を行うなどにより、安全衛生管理等の確実な実施とイベントの充実に努めること。

- ・イベントの実施に当たっては、関係法令等を確認し、必要に応じ手続きを行うこと。

- ・イベントには本県ゆかりの著名人又は当該自然等体験に関して造詣の深い人物を招聘し、一緒に体験する仕掛けを盛り込むこと。

- ・参加者に対し、越後三山只見国定公園（福島県地域）及び当日の自然

等体験イベントに関する理解を促進するツール（リーフレット等）を製作し、配布すること。

・参加者に対し JR 只見線を活用した自然等体験の満足度や今後の本国立公園の自然資源等の利活用に関するアンケートを実施し、課題等を抽出、整理すること。

(3) (1) (2) の開催に係る告知及び越後三山只見国定公園（福島県地域）の宣伝等

ア (1) (2) の開催に係る WEB ページ（申込みフォームを含む）を作成し、運用管理すること。なお、同ページの内容には越後三山只見国定公園（福島県地域）の魅力紹介を含めること。

イ 既存の「ふくしまグリーン復興構想」専用 WEB サイト (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/fgr/>) の最新情報の更新や SNS 広告等によりイベントの開催を周知すること。

ウ イベントポスター及びチラシを製作し、アウトドア関連施設など効果的な PR を実施できる施設等へ配布すること。

エ その他、イベント並びに越後三山只見国定公園（福島県地域）の情報発信に係る市町村や観光関係団体などと連携して取り組むなど、当該コンテンツが将来的に地元のプロモーションでも活用されていくために効果的な施策があれば提案することも可とする。

## 7 成果品

履行期限までに以下の成果物を提出すること。

(1) 実績報告書（紙媒体 3 部）

(2) 本委託業務に係る全ての成果物の電子データ（電子記録媒体 1 部）

## 8 提出書類

受託者は、委託契約書に定めるもののほか、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 契約締結後に速やかに提出するもの

ア 着手届（様式第 1 号）

イ 統括責任者通知書（任意様式）

ウ 業務計画書及び実施工程表（任意様式）

エ 収支計画書（任意様式）

オ その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類

(2) 業務完了後、履行期限までに速やかに提出するもの

ア 完了届（様式第2号）

イ 収支報告書（任意様式）

ウ その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類

## 9 統括責任者

受託者は、本業務に当たって十分な経験を有する者を統括責任者として定めなければならない。

## 10 事業実施にあたっての打合せ

受託者は、本業務の期間において、福島県との間で随時打合せを行った上で業務を実施するものとし、その打合せ記録を作成するものとする（様式任意）。

また、福島県は本業務の実施のために必要な協力をする。

## 11 その他留意事項

(1) 成果品の著作権等の取り扱い

ア 本業務における成果物の所有権や著作権は、原則としてすべて福島県に帰属し、委託者は事前の連絡なく加工及び2次利用できるものとする。ただし、受託者が従来から権利を有していた受託者固有の知識、技術に関する権利等（以下「権利留保物」という。）については、受託者に留保するものとし、この場合、福島県は権利留保物についての当該権利を非独占的に使用できることとする。

イ 本業務の実施による成果品は、著作権・肖像権上の処理を済ませた上で納入すること。

(2) 個人情報の取り扱い

本業務で個人情報及び特定個人情報を扱う場合は、流失・損失が生じないよう、その保護について十分な注意を払うこと。

(3) 秘密の保持

本業務で取得した情報については、秘密を保持するとともに、契約目的以外には絶対に利用しないこと。

(4) その他

ア 業務の実施に当たっては、業務の内容及び範囲について、福島県と綿密な打ち合わせを行い、その決定に従うこと。

イ 受託者は、受託業務に関する事項について、福島県から報告を求められた場合には速やかに応じること。また、改善が必要な事項については、直

ちにこれに応じ、その結果を報告すること。

ウ 本仕様書に明示無き事項又は業務に疑義が生じた場合は、福島県及び受託者双方の協議により業務を進めるものとする。

エ 但し、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と思われるものについては本業務に含まれるものとする。